

第7章

未来（あす）を見つめたまちづくり

711 人権啓発推進事業										経営企画部企画総務課		企画総務課長 澤 敦史	
目的	人権意識の向上を図ることにより、市民一人ひとりの人権を擁護し、差別のない地域社会を築くことを目的とする。									開始	H12	R6	R7
										予算現額		1,028千円	780千円
内容	企業及び職員向け研修会の実施、「人権フェスティバル」の開催(入間郡市同和対策協議会)、人権啓発講演会の実施(人権啓発活動地方委託事業)、人権啓発物品の作成・配布等の啓発事業を行う。									決算額(R7見込)		885千円	728千円
										正規職員数		0.77人	0.82人
指標	職員向け人権研修会の開催回数人権啓発の推進に向けた職員研修の取組状況を示す指標。 数値は、職員向け人権研修会の開催回数。毎年度、4回以上をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,285千円	6,927千円		
						4回	5回	4回	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	7,170千円	7,655千円	
711 平和推進事業										経営企画部企画総務課		企画総務課長 澤 敦史	
目的	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを市民に理解してもらうことを目的とする。									開始	S60	R6	R7
										予算現額		640千円	526千円
内容	公募した学生と平和祈念式典に参加する「広島平和記念式典参加事業」及び同日に市庁舎正面玄関前広場の広島市より寄贈された被爆敷石前で行う「所沢市平和祈念式」、市内小中学校を対象とした被爆体験者による「平和を語る会」、市役所及びまちづくりセンターで原爆のパネル写真を展示する、「平和祈念資料展」等を実施。									決算額(R7見込)		608千円	511千円
										正規職員数		0.92人	0.93人
指標	市の平和推進事業に理解いただいた人数の割合 戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを理解してもらうことが当該事業の目的となっているため。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	7,509千円	7,856千円		
						100%	100%	100%	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	8,117千円	8,367千円	
711 市制施行75周年「戦後80年・ノーベル平和賞受賞団体代表者講演会」開催事業										経営企画部企画総務課		企画総務課長 澤 敦史	
目的	市制施行75周年および戦後80年という節目の年に、平和の大切さをより多くの方に認識していただくとともに、未来を担う若い世代への平和教育の機会とする。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	541千円
内容	令和6年にノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会の田中照已代表委員をお招きし、市民を対象とした講演会を開催する。									決算額(R7見込)		-	533千円
										正規職員数		-	0.23人
指標	募集人数に対する講演会参加申込者数の割合(定員を上回る応募があった場合は100%とする) 平和の大切さをより多くの方に認識していただくため、どれだけ興味関心を持たれ参加の意思を示されたかを指標とするもの。					R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	1,943千円		
						100%	100%	-	その他職員割合	-	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	-	2,476千円	
712 人権教育推進事業										教育総務部社会教育課		社会教育課長 奥井 祥三	
目的	人権教育の推進を図り、市民一人ひとりの人権意識の高揚に努めるとともに、差別や偏見のない明るい地域社会の実現に寄与することを目的とする。									開始	H15	R6	R7
										予算現額		784千円	675千円
内容	所沢市人権教育推進協議会に交付金を交付するとともに、関係機関と連携して、広く市民や社会教育関係団体、学校関係者に対する研修会の開催や啓発物の配布を通じて人権教育を推進する。									決算額(R7見込)		685千円	440千円
										正規職員数		0.75人	1.36人
指標	人権教育講座の受講者数 人権教育の推進に関する取組状況を測る指標。 数値は、令和5年度の人権教育講座の受講者数。令和10年度までに700人以上をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,122千円	11,488千円		
						453人	369人	700人	その他職員割合	0.15人	0.35人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	6,807千円	11,928千円	
712 外国人のための日本語講習会開設事業										教育総務部社会教育課		社会教育課長 奥井 祥三	
目的	日本在住の外国人が生活する上で必要不可欠な日本語の学習の場を保障し、市民の国際交流・異文化理解を推進する。									開始	H1	R6	R7
										予算現額		150千円	150千円
内容	毎週月曜日に日本語講習会を市民のボランティアにより実施する。また、日本語講習会の指導・支援ボランティアの確保と育成のための養成講座を開催し、これから活動を志す入門編と、技術向上を目指す実践編の研修等を実施する。									決算額(R7見込)		111千円	81千円
										正規職員数		0.27人	0.28人
指標	講習会受講生の人数(人) 多くの市内在住外国人に参加してもらいたいため、受講生の延べ人数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,204千円	2,365千円		
						524人	893人	524人	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	2,315千円	2,446千円	

713 ユニバーサルデザイン推進事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史			
目的	誰もが参加しやすく、暮らしやすいまちづくりの推進することを目的とする。									開始	-	R6	R7			
										予算現額		0千円		0千円		
内容	ユニバーサルデザイン推進基本方針に基づき、職員研修などユニバーサルデザインを推進するための各種事業を行う。									決算額(R7見込)		0千円		0千円		
										正規職員数		0.06人		0.21人		
指標	職員のユニバーサルデザインへの配慮度職員の業務におけるユニバーサルデザインへの意識を測る指標。 数値は、ユニバーサルデザインに関する職員へのアンケートの設問で、日常業務におけるユニバーサルデザインへの配慮について、「配慮して業務に取り組んでいる」と答えた人の割合。令和10年度までに80.0%をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		490千円		1,774千円			
						64.8%	67.0%	80.0%	その他職員割合		0.00人		0.00人			
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		490千円		1,774千円	
714 配偶者暴力相談支援センター事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史			
目的	配偶者等からの暴力(DV)被害者や、性的な被害や家庭状況など様々な問題に直面する女性等が、社会の中で自立して生活していけるよう、必要な支援を行う。									開始	R4	R6	R7			
										予算現額		12,747千円		12,834千円		
内容	配偶者等からの暴力(DV)被害者や、性的な被害や家庭状況など様々な問題に直面する女性等からの相談に応じ、自立生活に必要な情報の提供、緊急時の一時保護を行う等、関係機関と連携して必要な支援を行う。									決算額(R7見込)		11,744千円		12,778千円		
										正規職員数		1.91人		1.09人		
指標	指標は、相談・支援対応の強化のため、関係機関等との連携促進を目的とする会議・研修の開催回数とする。 困難な問題を抱える女性等支援連携会議を毎年開催することとし、現状維持を基本として目標値は年1回とするもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		15,589千円		9,207千円			
						年1回	年2回	年1回以上	その他職員割合		3.00人		3.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		27,333千円		21,985千円	
714 男女共同参画啓発・普及事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史			
目的	誰もが自分らしくのびやかに生きられる男女共同参画の実現に向けて、男女共同参画への関心を高め、性別による固定的役割分担意識の改善を図ることを目的とする。									開始	S56	R6	R7			
										予算現額		339千円		357千円		
内容	男女共同参画に関する題材について情報収集し、男女共同参画情報誌「SUN」として作成し発行する。									決算額(R7見込)		334千円		353千円		
										正規職員数		0.89人		0.85人		
指標	男女共同参画に関する講座の参加者数男女共同参画に関する取組状況を示す指標。 数値は、男女共同参画に関する講座に参加した人数。毎年度1,800人以上をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,264千円		7,180千円			
						1,756人	1,545人	1,800人	その他職員割合		0.10人		0.10人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		7,598千円		7,533千円	
714 男女共同参画推進センターふらっと運営事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史			
目的	男女共同参画に係る「学習」・「相談」・「交流」・「情報」の場を提供するとともに、できるだけ多くの方に男女共同参画への理解と意識の向上を図ることを目的とする。									開始	H7	R6	R7			
										予算現額		10,709千円		10,285千円		
内容	施設(会議室・研修室・生活工房)、印刷機、男女共同参画に関する図書・DVDの貸出を行う。									決算額(R7見込)		9,877千円		9,446千円		
										正規職員数		0.65人		0.55人		
指標	会議室等の稼働率 (会議室・研修室・生活工房の月別稼働率の平均) ふらっとの事業目的の一部である男女共同参画に係る「学習」や「交流」の場を提供することの成果を測るため、会議室等の稼働率を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		5,305千円		4,646千円			
						32%	32%	45%	その他職員割合		1.40人		1.40人			
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		15,182千円		14,092千円	
714 女性の生き方に関する相談事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史			
目的	男女共同参画社会の実現のために、その障害となる悩みや問題を解決するための援助事業を行う。									開始	H7	R6	R7			
										予算現額		3,905千円		3,879千円		
内容	電話相談、カウンセリング、何でもききます相談の実施。									決算額(R7見込)		3,810千円		3,795千円		
										正規職員数		0.30人		0.30人		
指標	年間相談数 悩んでいる人への対応数を相談事業の成果と捉え、相談数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,449千円		2,534千円			
						1,262人	1,465人	750人	その他職員割合		0.20人		0.20人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		6,259千円		6,329千円	

714 DV被害者及び困難な問題を抱える女性支援関係機関連携事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史	
目的	配偶者からの暴力(DV)被害者や、様々な問題に直面する女性を支援するため、関係機関等との連携体制を強化するもの。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額			-	149千円
内容	「所沢市困難な問題を抱える女性等支援連携会議設置要綱」に基づき、配偶者からの暴力(DV)被害者や、様々な問題に直面する女性に対する支援を適切かつ円滑に行うため、民間団体を含めた各関係機関との情報交換等の場として、会議を開催する。									決算額(R7見込)		-	61千円	
										正規職員数		-	0.16人	
指標	指標は、多様な関係機関との連携構築のため、会議に参加した関係機関等の数(庁内関係機関を除いた数)としたもの。 現在、要綱に定める関係機関等の数を維持し、新たな関係機関等との連携構築を踏まえ、目標値は8機関以上とする。						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		-	1,352千円	
							8機関	8機関	8機関以上	その他職員割合		-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		-	1,413千円
714 ふらっと企画講座実施事業										経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史	
目的	ふらっと主催の講座を通して、多くの市民等に向けて男女共同参画への理解と意識の向上を図ることを目的とする。									開始	H7	R6	R7	
										予算現額			371千円	346千円
内容	男女共同参画に係る講座・研修・講演会などの開催を行う。									決算額(R7見込)		250千円	327千円	
										正規職員数		0.60人	0.74人	
指標	男女共同参画に関する講座の参加者数男女共同参画に関する取組状況を示す指標。 数値は、男女共同参画に関する講座に参加した人数。毎年度1,800人以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,897千円	6,251千円	
							1,756人	1,545人	1,800人	その他職員割合		0.30人	0.30人	
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		5,147千円	6,578千円
721 新春のつどい開催事業										秘書室			秘書担当参事 松崎 清吾	
目的	市のトップマネジメントと参加者との意見交換や、参加者同士の交流を深め情報交換を図ることを目的とする。									開始	H21	R6	R7	
										予算現額			2,184千円	2,077千円
内容	より多くの市民の参加を促すため、市内各団体の代表をメンバーとした『新春のつどい開催連絡会』で協議し、毎年1月に開催している。									決算額(R7見込)		1,441千円	1,717千円	
										正規職員数		0.80人	0.90人	
指標	参加申込者数 参加者同士の交流を深め情報交換を行うことが目的となっていることから、参加申込者数を指標とする。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,530千円	7,602千円	
							868人	828人	900人	その他職員割合		0.00人	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		7,971千円	9,319千円
721 所沢市表彰事業										秘書室			秘書担当参事 松崎 清吾	
目的	所沢市の自治の振興を促進することを目的とする。									開始	S45	R6	R7	
										予算現額			1,415千円	1,775千円
内容	政治、経済、福祉、文化、社会等、様々な分野で市勢の振興に寄与、または大勢の模範と認められる行為があった方々を表彰する。									決算額(R7見込)		1,396千円	1,285千円	
										正規職員数		0.75人	0.85人	
指標	表彰式出席率 (表彰式出席者数÷被表彰者数×100) 感謝の意を表す行事であるため、多くの方に出席いただくことが望ましい。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,122千円	7,180千円	
							49%	56%	70%	その他職員割合		0.00人	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		7,518千円	8,465千円
721 名誉市民顕彰事業										秘書室			秘書担当参事 松崎 清吾	
目的	所沢市の社会文化興隆に資することを目的とする。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額			-	363千円
内容	広く社会、文化の興隆に功績があり、市民の敬愛の対象とされる方に対し、所沢市名誉市民の称号及び記章を贈り、その功績をたたえる。									決算額(R7見込)		-	363千円	
										正規職員数		-	0.45人	
指標	名誉市民の推挙及び推挙状授与の実施						R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)		-	3,801千円	
							—	実施	実施	その他職員割合		-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅴ:事業終了		決算額+人件費		-	4,164千円

721 所沢市自治基本条例推進事業										経営企画部経営企画課			経営企画担当参事 齋藤 伸宏	
目的	市民等・市議会・市が議題を共有し、連携・協力しながら市民自治によるまちづくりを推進していくことを目的とする。								開始	H18	R6	R7		
									予算現額		406千円	341千円		
内容	所沢市自治基本条例推進委員会を設置し、条例の適切な運用を図り、市民参加や情報公開の在り方について検討を行う。								決算額(R7見込)	383千円	341千円			
									正規職員数		0.54人	0.33人		
指標	審議会等における市民公募に伴う無作為抽出の実施率 市民参加における幅広い意見の聴取の成果を測る指標。 数値は、審議会等における市民公募に伴う無作為抽出の実施率。令和10年度までに94.0%をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,407千円	2,788千円			
						91.4%	86.3%	94.0%	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	4,790千円	3,129千円		
721 市民相談事業										市民部市民相談課			市民相談課長 吉内 れい	
目的	生活上生じる様々な問題について市民からの相談に対し適切な助言等を行い、自主的な解決を促進して住民の福祉向上に寄与することを目的とする。								開始	S47	R6	R7		
									予算現額		22,884千円	22,947千円		
内容	電話及び面接方式による相談を以下(①～⑧)のとおり実施している。なお、②③④の専門相談については、予約制としている。 ①一般相談②弁護士相談③税理士相談④司法書士相談⑤行政書士相談⑥人権相談⑦行政相談⑧外国人生活相談								決算額(R7見込)	22,717千円	22,673千円			
									正規職員数		1.71人	1.28人		
指標	年間相談数 市民からの相談について幅広く対応しつつ、内容に応じて相談に至る前に適切な外部の相談先を紹介していることから、相談事業として受けるのに適した年間の数を目標設定としている。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	13,957千円	10,812千円			
						3,044件	3,143件	3,500件	その他職員割合	3人	3.75人			
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	36,674千円	33,485千円		
721 明るい選挙啓発事業										選挙管理委員会事務局			選挙管理委員会事務局次長 築地 将司	
目的	市民が選挙制度を正しく理解して政治や選挙に関心を持ち、自らが進んで投票に参加して選挙が適正に行われるよう、市と所沢市明るい選挙推進協議会が一体となり啓発活動に取り組んでいる。								開始	S31	R6	R7		
									予算現額		1,546千円	1,400千円		
内容	○常時啓発事業:選挙執行時以外にも、明るく正しい選挙の実現のため、明るい選挙啓発ポスターコンクールの開催等、若年層を対象とした事業を中心に実施。 ○選挙時啓発事業:投票日等を周知する「選挙のお知らせ」の配布や、防災無線を活用した高校生による投票への呼びかけを実施。								決算額(R7見込)	1,227千円	1,004千円			
									正規職員数		1.40人	0.80人		
指標	特に若い世代に選挙に関心を持ってもらうため、小中高生を対象とした参加型の啓発活動の参加延べ校数(出前講座の開催、投票箱等の貸出及びポスターコンクールの応募校の合計)の増加を目指す。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	11,427千円	6,758千円			
						33校	39校	43人	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	12,654千円	7,762千円		
722 視聴覚障害のある方にも優しい市政情報発信事業										経営企画部広報課			広報課長 板垣 昭彦	
目的	点字、音声、手話、字幕を用いて、視覚や聴覚に障害のある方も含め、誰もが市政情報を取得できるようにする。								開始	-	R6	R7		
									予算現額		3,700千円	3,870千円		
内容	広報デジター版(視覚障害者用デジタル録音図書の国際標準規格)は広報紙の各記事を読みあげ、CDに録音している。広報点字版は広報紙のいくつかの記事を抜粋し、点字に変換し、冊子を作成している。 市が公式動画について、手話表示や字幕表示を設定し、公開している。								決算額(R7見込)	3,644千円	3,822千円			
									正規職員数		0.39人	0.29人		
指標	広報デジター版及び点字版の配布件数。 希望する方に配布することを目指し、現状の維持を目標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,183千円	2,450千円			
						53件	41件	41件	その他職員割合	1.00人	1.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	6,827千円	6,272千円		
722 広報紙発行事業										経営企画部広報課			広報課長 板垣 昭彦	
目的	市政情報等を的確かつ適切な時期に市民等に分かりやすくお知らせするもの。特集や連載コーナーなども企画し、積極的に読者に役立つ情報の発信に努めている。								開始	S27	R6	R7		
									予算現額		46,998千円	52,761千円		
内容	毎月1回1日、タブロイド判16ページとして広報紙を発行し、市内全世帯・事業所に戸別配布している。								決算額(R7見込)	44,454千円	49,192千円			
									正規職員数		2.44人	2.39人		
指標	市民意識調査「市の情報発信に対する満足度」 広報紙に特化した設問ではないものの、市の情報を得る主要な手段である広報紙への満足度を測る一定の指標ととらえ、前年度実績からの増加を目指す。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	19,915千円	20,188千円			
						56.6%	53.1%	70.0%	その他職員割合	0.00人	0.00人			
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	64,369千円	69,380千円		

722 ホームページ運用事業										経営企画部広報課		広報課長 板垣 昭彦	
目的	行政サービスの向上を目的として、ホームページを積極的に活用し、本市の情報や魅力を市内外に発信する。									開始	H8	R6	R7
										予算現額		7,048千円	9,878千円
内容	CMSを用いた所沢市公式ホームページを運営している。担当課が直接コンテンツを作成・更新できるシステムを採用することで、事務の迅速化・効率化を図っている。									決算額(R7見込)		7,039千円	9,814千円
										正規職員数		0.88人	0.90人
指標	ホームページのコンテンツ評価機能において、ページ内容が「役に立った」「見つけやすかった」と答えた人の割合 利用者が欲しい情報に容易にたどり着き、その情報が満足するものであるかが重要であるため、システムの評価機能により現状を把握するものである。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,183千円	7,602千円
							79%	81.6%	82%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		14,222千円	17,416千円
722 メール配信事業										経営企画部広報課		広報課長 板垣 昭彦	
目的	メール配信システムを利用し、市民が必要とする市政情報を効果的・効率的に周知する。									開始	H20	R6	R7
										予算現額		2,154千円	2,601千円
内容	メール配信システム(ASPサービス)を利用し、利用登録者に対して市政情報(21カテゴリ)を配信する。 ・LINE・X(旧Twitter)と自動連携して同内容を配信している。 ・市ホームページからも配信内容を見ることができる。									決算額(R7見込)		2,154千円	2,601千円
										正規職員数		0.72人	0.67人
指標	市政情報に関する発信の充実度を示す指標。 数値は、ところざわほっとメールの利用登録者数(LINE連携による受信登録を含む)。 令和10年度までに41,000人をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		5,877千円	5,659千円
							36,905人	44,906人	41,000人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		8,031千円	8,260千円
722 会議の公開制度推進事業										市民部市民相談課		市民相談課長 吉内 れい	
目的	市政において重要な役割を果たしている各種の審議会等の会議を原則として公開することにより、市政運営や施策形成における透明性を高めることを目的とする。									開始	H13	R6	R7
										予算現額		44千円	478千円
内容	会議開催前に開催のお知らせを公表し、会議開催後は、会議開催結果、配布資料、会議録を市政情報センターに配架し、閲覧に供している。(会議録は市ホームページで公開している。)									決算額(R7見込)		37千円	372千円
										正規職員数		0.29人	0.29人
指標	公開された会議の割合(公開された会議の数÷(開催された会議の数-公開されなかった会議のうち個人情報や理由とした会議の数)×100) 公開された会議の割合が増えることで、市政運営や施策形成における透明性が高まると考える。 公開された会議の割合が80%前後で推移していることから、それを上回る85%を目標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,367千円	2,450千円
							80.0%	93.3%	85.0%	その他職員割合		0.00人	0.13人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		2,404千円	2,822千円
722 市政情報センター運営事業										市民部市民相談課		市民相談課長 吉内 れい	
目的	市民が市政に関する正確でわかりやすい情報を迅速かつ容易に得られるようにすることを目的とする。									開始	H7	R6	R7
										予算現額		987千円	1,345千円
内容	各課で作成又は取得した行政資料を市政情報センターで配架し、閲覧、貸出、有償頒布するほか、提供された情報について一覧表を作成し、窓口や市ホームページで公表している。									決算額(R7見込)		800千円	1,173千円
										正規職員数		0.41人	0.41人
指標	市政情報センターの行政資料利用数(有償頒布数-都市計画図等の図面有償頒布数+行政資料貸出数) 市の保有情報を積極的に提供することが当該事業の目的となっているため「行政資料利用数」を指標とする。ただし、コピー利用を推進している図面有償頒布数は除く。令和10年度の目標数は過去5年平均数(約350)及び減少傾向であることを踏まえ、300件とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		3,346千円	3,463千円
							317件	223件	300件	その他職員割合		0.00人	0.13人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		4,146千円	4,636千円
722 情報公開制度推進事業										市民部市民相談課		市民相談課長 吉内 れい	
目的	行政の透明化及び市民参加促進により公正・民主的に市政を推進することを目的とする。									開始	S63	R6	R7
										予算現額		796千円	1,233千円
内容	所沢市情報公開条例に定める公文書公開請求に基づき市の保有する公文書を公開する。 また、公文書の公開のほか、市政に関する正確で分かりやすい情報を市民が迅速かつ容易に得られるよう、情報公開の総合的な推進及び積極的な情報の提供に努める。									決算額(R7見込)		283千円	836千円
										正規職員数		0.64人	0.64人
指標	公開請求に対する不服申立率(%) (不服申立て数/請求数(申出は含まない)×100 情報公開請求に対して適正な対応や決定等における丁寧な説明を行うことで、不服申立てが生じる可能性は低くなると考えられることから、1.0%を指標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		5,224千円	5,406千円
							1.4%	0.5%	1.0%	その他職員割合		0.00人	0.13人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		5,507千円	6,242千円

723 個別広聴事業										市民部市民相談課		市民相談課長 吉内 れい	
目的	多様化する市民の意見・要望・提案に迅速、的確に対応するとともに市政運営に活かしていくことを目的とする。									開始	S43	R6	R7
										予算現額		121千円	197千円
内容	専用封書等の郵便、FAX、電話、窓口での申出、電子メール等様々な方法で寄せられる市長への手紙や陳情等による市民の意見・要望・提案を受け対応する。									決算額(R7見込)		117千円	115千円
										正規職員数		0.80人	1.02人
指標	市長回答に要する日数(回答にかかった総日数÷数) 市民の意見・要望・提案に、迅速、丁寧、的確に対応するために、市長回答に要する日数を指標とする。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	6,530千円		8,616千円	
						28.8日	28.6日	14日	その他職員割合	0.00人		0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	6,647千円	8,731千円	
723 市政懇談会開催事業										市民部市民相談課		市民相談課長 吉内 れい	
目的	多様な意見や要望等を聞き、市民参加による開かれたまちづくりを積極的に推進することを目的とする。									開始	S48	R6	R7
										予算現額		17千円	19千円
内容	各種団体等から要請を受け、市の施策や事業に関する意見、提案、要望等について意見交換を行う。									決算額(R7見込)		14千円	11千円
										正規職員数		0.92人	0.92人
指標	市政懇談会の開催に当たり、議会開会月を除くなどの調整をした上で可能な限り開催することを目標設定の考え方としている。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	7,509千円		7,771千円	
						6回	9回	7回	その他職員割合	0.00人		0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	7,523千円	7,782千円	
731 職員研修事業										総務部職員課		職員課長 中村 順史	
目的	市民のために創意工夫し自ら考え動き、また、組織にとって有用な人材を育成・支援する。									開始	-	R6	R7
										予算現額		6,821千円	7,003千円
内容	「人材育成基本方針」、「職員研修計画」に則り、職員研修を実施する。 【研修体系】 キャリアステージ研修、マイセルフ研修、派遣研修ほか自己啓発支援など									決算額(R7見込)		6,474千円	6,759千円
										正規職員数		1.97人	1.75人
指標	自分自身が成長したと感じる職員の割合人材育成に関する取組状況を示す指標。 数値は、職員がOJT研修、人事評価等を通して、自身が成長したと感じた割合。令和10年度までに80.0%以上をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	16,079千円		14,782千円	
						67.4%	80.7%	80%	その他職員割合	0.00人		0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	22,553千円	21,541千円	
732 こころの健康相談事業										総務部職員課		職員課長 中村 順史	
目的	職員の心身の健康の保持・増進。									開始	H12	R6	R7
										予算現額		1,680千円	1,680千円
内容	精神科医1名及び精神保健福祉士2名に委嘱し、「こころの健康相談」を実施する(月4回)。 職員課の保健師が予約の窓口となり、電話や専用のメール等で受付をしている。									決算額(R7見込)		1,680千円	1,680千円
										正規職員数		0.15人	0.10人
指標	実施回数(月4回×12ヵ月) 職員が相談しやすい環境を整備しておく必要があることから、「こころの健康相談」の年間実施回数を指標としている。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	1,224千円		845千円	
						48回	48回	48回	その他職員割合	0.00人		0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	2,904千円	2,525千円	
732 職員ストレスチェック事業										総務部職員課		職員課長 中村 順史	
目的	職員自身のストレスへの気付きを促し、セルフケアに取り組むことや働きやすい職場づくりを進めることで、職員がメンタル不調となることを未然に防ぐ。									開始	H28	R6	R7
										予算現額		1,016千円	923千円
内容	労働安全衛生法の規定に基づく心理的な負担の程度を把握するための検査(57項目)と、その結果に基づく面接指導を実施する。									決算額(R7見込)		707千円	674千円
										正規職員数		0.25人	0.22人
指標	ストレスチェック集団分析結果に基づく研修会(職場環境改善についての研修)に出席した所属長の割合。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,041千円		1,858千円	
						75.2%	99.2%	100%	その他職員割合	0.00人		0.20人	
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費	2,748千円	2,532千円	

732 労働安全衛生事業(安全衛生委員会の産業医体制の強化)										総務部職員課			職員課長 中村 順史	
目的	産業医の資格を有している市民医療センターの医師2名を安全衛生委員会の産業医として任命しているが、市民医療センターの業務との調整の中では全ての産業医業務を十分に実施することが困難な状況であるため産業医体制の強化を図る。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	1,200千円	
内容	所沢市医師会から推薦を受けた医師2名を新たに産業医に任命することにより、職場巡視等の産業医業務の強化を図る。									決算額(R7見込)	-	1,150千円		
										正規職員数		-	0.30人	
指標	職場環境の整備を進める取り組みである産業医による職場巡視の実施割合。							R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	2,534千円	
								100%	100%	100%	その他職員割合	-	0.05人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	-	3,684千円	
732 労働安全衛生事業(安全衛生委員会の産業医体制の強化)										こども未来部保育幼稚園課			保育幼稚園担当参事 清水 康雄	
目的	職員の健康、また職場環境を整えるため、産業医体制を強化するもの									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	300千円	
内容	・公立保育園での職場巡視 ・保育園安全衛生委員会への参加 など									決算額(R7見込)	-	250千円		
										正規職員数		-	0.41人	
指標	年間6回の活動(4施設の職場巡視と2回の委員会)を開催する。							R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	3,463千円	
								5回	5回	6回	その他職員割合	-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	-	3,713千円	
732 労働安全衛生事業(安全衛生委員会の産業医体制の強化)										健康推進部健康管理課			健康管理課長 一色 義直	
目的	職員の健康及び職場環境を整えるため、産業医体制を強化するもの。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	0千円	
内容	・公立保育園での職場巡視 ・保育園安全衛生委員会への参加 など									決算額(R7見込)	-	0千円		
										正規職員数		-	0.00人	
指標	職場環境の整備を進める取組である産業医による職場巡視の実施割合を指標とする。							R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	-	0千円	
								100%	100%	100%	その他職員割合	-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画通り	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	-	0千円	
732 労働安全衛生事業(安全衛生委員会の産業医体制の強化)										環境クリーン部収集管理事務所			収集管理事務所長 古瀬 力	
目的	所沢市医師会から推薦を受けた医師を産業医に任命することにより、産業医体制の強化を図るものである。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	0千円	
内容	産業医の職場巡視、安全衛生委員会への出席									決算額(R7見込)	-	300千円		
										正規職員数		-	0.23人	
指標	職場環境の整備を進める取り組みであり、産業医による職場巡視の実施割合とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	1,943千円	
								100%	100%	100%	その他職員割合	-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	-	2,243千円	
732 労働安全衛生事業(安全衛生委員会の産業医体制の強化)										教育総務部教育総務課			教育総務課長 川島 一禎	
目的	産業医の資格を有している市民医療センターの医師を安全衛生委員会の産業医として任命しているが、市民医療センターの業務との調整の中ではすべての産業医業務を十分に実施することが困難な状況であるため、産業医体制の強化を図る。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	300千円	
内容	所沢市医師会から推薦を受けた医師1名を新たに産業医に任命することにより、職場巡視等の産業医業務の強化を図る。									決算額(R7見込)	-	300千円		
										正規職員数		-	0.05人	
指標	職場環境の整備を進める取組である産業医による職場巡視の実施割合を指標とする。							R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	422千円	
								100%	100%	100%	その他職員割合	-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費	-	722千円	

732 労働安全衛生事業(安全衛生委員会の産業医体制の強化)										学校教育部保健給食課			保健給食担当参事 渡辺 純也					
目的	産業医の資格を有している市民医療センターの医師を安全衛生委員会の産業医として任命しているが、市民医療センターの業務との調整の中ではすべての産業医業務を十分に実施することが困難な状況であるため、産業医体制の強化を図る。									開始	R7	R6		R7				
										予算現額				-	300千円			
内容	所沢市医師会から推薦を受けた医師1名を新たに産業医に任命することにより、職場巡視等の産業医業務の強化を図る。									決算額(R7見込)				-	300千円			
										正規職員数				-	0.41人			
指標	職場環境の整備を進める取組である産業医による職場巡視の実施割合を指標とする。								R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)				-	3,463千円	
									100%	100%	100%	その他職員割合				-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費				-	3,763千円		
732 労働安全衛生事業(安全衛生委員会の産業医体制の強化)										上下水道局総務課			総務課長 中林 正太					
目的	令和6年度までは、産業医の資格を有している市民医療センターの医師1名を安全衛生委員会の産業医として任命していたが、市民医療センターの業務との調整の中では、全ての産業医業務を十分に実施することが困難な状況であるため、産業医体制の強化を図る。									開始	R7	R6		R7				
										予算現額				-	600千円			
内容	外部の医師1名を新たに産業医に選任することにより、職場巡視等の産業医業務の強化を図る。									決算額(R7見込)				-	382千円			
										正規職員数				-	0.25人			
指標	職場環境の整備を進める取組である産業医による職場巡視の実施割合。 実施割合＝産業医による職場巡視を実施した月数 ÷ 12か月 × 100								R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)				-	2,112千円	
									58.3%	58.3%	100%	その他職員割合				-	0.00人	
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費				-	2,494千円		
733 組織管理事務										経営企画部経営企画課			経営企画担当参事 齋藤 伸宏					
目的	新たな行政課題を捉え、的確に対応できる組織整備を図る。職務の内容や責任の度合い等の特性に応じて、民間委託や指定管理者制度等の活用を検討し、合理的で効果的な組織運営を行うことで、適正な定員管理に努める。									開始	-	R6		R7				
										予算現額		0千円		0千円				
内容	組織横断的な課題に対しては、既存の組織の枠組みにとらわれず、引き続きプロジェクトチームの結成や関係部署による調整会議などの取組を進める。増大する事務に対しては、組織の枠を超えた機動的な応援体制の更なる促進を図る。									決算額(R7見込)		0千円		0千円				
										正規職員数		0.64人		0.80人				
指標	事務の応援件数組織の枠を超えた機動的な制度である事務の応援制度の活用状況を示す指標。 数値は、繁忙期等における職員相互の事務の応援件数。毎年度、25件以上をめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		5,224千円		6,758千円		
									22件	19件	25件	その他職員割合		0.00人		0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		5,224千円		6,758千円			
741 所沢市マネジメントシステム推進事業										経営企画部経営企画課			経営企画担当参事 齋藤 伸宏					
目的	事業の企画立案・予算化・実施・評価検証などの市政運営を所沢市マネジメントシステムの仕組みに沿って進めていくことで、より合理的かつ効果的に市政を進めていく。									開始	H25	R6		R7				
										予算現額		95千円		0千円				
内容	総合計画の実現に向けた実施計画の策定を行ったうえで、事務事業評価などにより評価検証し、当該事業のさらなる改善につなげていく。									決算額(R7見込)		6千円		0千円				
										正規職員数		0.45人		0.28人				
指標	事務事業評価の達成度各事務事業の進捗を測る指標。 数値は、事務事業評価において「目標を上回っている:計画以上」「目標に達している:計画どおり」とした事業の割合。令和10年度までに67.0%をめざすもの。								R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		3,673千円		2,365千円		
									60.0%	83.5%	67.0%	その他職員割合		0.00人		0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費		3,679千円		2,365千円			
741 (仮称)第3期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業										経営企画部経営企画課			経営企画担当参事 齋藤 伸宏					
目的	「第6次所沢市総合計画」に掲げる将来都市像の実現を目指すとともに、人口減少・少子高齢化の流れの中で、持続可能なまちづくりを推進することを目的とする。									開始	R7	R6		R7				
										予算現額				3,540千円				
内容	令和3年度に改定した「第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間が令和7年度で終了を迎えることから、①こどもを中心としたまちづくり②中核市移行による地方分権の推進 ③デジタルの活用という横断的な視点を持ち、「第3期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。									決算額(R7見込)				3,540千円				
										正規職員数				0.75人				
指標	「第3期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。								R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)				6,335千円		
									未策定	策定	策定	その他職員割合				0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅴ:事業終了		決算額+人件費				9,875千円			

741 第7次所沢市障害者支援計画策定事業										福祉部障害福祉課		障害福祉課長 廣谷 貴紀	
目的	第6次所沢市障害者支援計画(令和6年3月策定)の計画期間が、令和8年度をもって終了するため、障害者を取り巻く環境や社会・経済情勢、これまでの支援計画の実績、市民及び障害者のニーズ等を把握し、第7次所沢市障害者支援計画を策定し障害者施策を推進する。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	7,751千円
内容	令和7年度は実態調査を行い、令和8年度において計画策定業務を行う。なお、委託業者は実態調査から計画策定業務までの一連の流れを、プロポーザル方式により決定した。									決算額(R7見込)		-	7,118千円
										正規職員数		-	1.44人
指標	第7次所沢市障害者支援計画の策定						R7現状	R7実績	R8目標	正規職員数(費)		-	12,164千円
							推進協、団体ヒア、法人ヒア実施	アンケート実施	第7次計画策定	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		-	19,282千円
741 第10期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業										福祉部高齢者支援課		高齢者支援課長 溝井 光正	
目的	高齢者福祉施策・介護保険制度にかかる次期「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定する。(10期計画期間:令和9年度から令和11年度)									開始	R7	R6	R7
										予算現額		0千円	8,266千円
内容	当該計画は、諮問機関への諮問・答申、市民の意見徴取、県の記載事項承認等の所定の手続を経て策定する。 また、国から計画の基礎資料となる調査の実施が求められていることや、計画策定に必要な支援を得るため、委託にて行った。									決算額(R7見込)		0千円	7,800千円
										正規職員数		0.00人	0.73人
指標	高齢者福祉・介護実態調査の実施完了(R7)/高齢者福祉計画・加介護保険事業計画の策定完了(R8) 国が示す指針や手引きに沿った法定計画であるため、各年度に遺漏なく実施すべき項目の完了を目標としている。						R7現状	R7実績	R8目標	正規職員数(費)		0千円	6,166千円
							実施する	完了した	完了する	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		0千円	13,966千円
741 第4次所沢市地域福祉計画策定事業										福祉部地域福祉センター		地域福祉センター長 木下 浩一	
目的	平成30年の社会福祉法改正により、策定が努力義務化された地域福祉計画を策定するため。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	8,876千円
内容	現行計画が令和8年度で終了することから、新たに令和9年度から令和14年度までの6年間を計画期間とする第4次地域福祉計画を策定するものである。									決算額(R7見込)		-	8,283千円
										正規職員数		-	1.02人
指標	第4次所沢市地域福祉計画を策定する。						R7現状	R7実績	R8目標	正規職員数(費)		-	8,616千円
							調査	調査	完成	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		-	16,899千円
741 所沢市こども計画推進事業										こども未来部こども政策課		こども政策課長 溝井 麻美	
目的	すべてのこどもと若者が幸せに暮らしていけるよう、所沢市こども計画(令和6年度までは「所沢市子ども・子育て支援事業計画」)を策定し、社会情勢の動向に合わせて施策等の着実な実施を図ることを目的とする。									開始	H27	R6	R7
										予算現額		970千円	825千円
内容	所沢市こども計画の策定・変更やこども計画における各事業の進行状況の点検・評価、進行管理等を行う。また、計画の策定・点検・見直しの際は、所沢市子ども・子育て会議委員の意見を参考にすると等、多様な意見を反映するよう努める。									決算額(R7見込)		664千円	651千円
										正規職員数		1.00人	0.90人
指標	順調に進んでいる事業等の数 計画書に掲げる主要な事業等(教育・保育と地域子ども・子育て支援事業)について、事業が順調に進んでいるかどうかを把握するもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		8,162千円	7,602千円
							18事業	21事業	22事業	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		8,826千円	8,253千円
741 第3次所沢市保健医療計画策定事業										健康推進部保健医療課		保健医療課長 中山 倫宏	
目的	所沢市保健医療計画は、「健康(けんこう)長寿のまち」の実現を目指し、本市の保健・医療等の目指す方向性を示すものであり、現行計画が令和7年度に計画最終年を迎えることから、新たに「第3次所沢市保健医療計画」を策定するものである。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		6,457千円	5,115千円
内容	令和6年度に実施した保健・医療等に関する市民アンケート調査の基礎情報を生かし、医療等に関する特殊性・専門性のあるデータや情報、他市の状況などを踏まえ、保健・医療等に関する市の現状や課題、計画の方向性を総合的に検討し、より質の高い充実した計画とする。									決算額(R7見込)		6,435千円	5,115千円
										正規職員数		1.30人	1.12人
指標	第3次所沢市保健医療計画の策定及び公表						R6現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)		10,611千円	9,461千円
							-	達成	-	その他職員割合		0.05人	0.10人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		17,046千円	14,576千円

741 所沢市文化財保存活用地域計画作成事業										教育総務部文化財保護課		文化財保護担当参事 古田 晃一	
目的	行政・市民・団体など地域総がかりで所沢市の歴史文化を後世に継承していく。									開始	R5	R6	R7
										予算現額		9,113千円	4,182千円
内容	本市における文化財の保存と活用に関する総合的な計画となる「所沢市文化財保存活用地域計画」を作成する。									決算額(R7見込)		5,289千円	4,003千円
										正規職員数		1.15人	1.40人
指標	協議会の開催回数 実効性のある計画作成には協議会や市民からの意見聴取が必要であるため、外部委員等により組織した協議会の開催回数を指標とした。						R5現状	R7実績	R8目標	正規職員数(費)		9,386千円	11,826千円
							1回	3回	1回	その他職員割合		0.20人	0.31人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		14,675千円	15,829千円
741 水道事業経営計画改定事業										上下水道局経営課		経営課長 中澤 宏和	
目的	水道事業を取り巻く社会情勢の著しい変化に対応し、健全で効率的な事業運営を継続するため、経営計画を改定する。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		0千円	10,978千円
内容	令和2年度に策定した所沢市水道事業経営計画(計画期間:令和3～12年度)について、策定から5年が経過するため、策定当初から計画変更が生じた点や社会情勢の変化を反映した見直しを行い、令和7年度に改定を行うものである。									決算額(R7見込)		0千円	10,978千円
										正規職員数		0.89人	1.15人
指標	所沢市水道事業経営計画の改定。						R6現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)		7,264千円	9,714千円
							検討	実施	実施	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		7,264千円	20,692千円
741 雨水管理総合計画策定事業										上下水道局下水道整備課		下水道整備課長 森田 敏幸	
目的	雨水事業計画区域における下水道(雨水)による浸水対策を計画的に進め、被害の軽減を図る。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		25,586千円	28,209千円
内容	下水道(雨水)による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定めた「雨水管理総合計画(計画期間:おおむね20年間)」を策定する。									決算額(R7見込)		23,100千円	25,190千円
										正規職員数		0.40人	1.32人
指標	事業完了に向けた各年度の進捗率。 事業の進捗状況を確認することで目標達成の成果を把握する。						R6現状	R7実績	R9目標	正規職員数(費)		3,265千円	11,150千円
							0%	50%	100%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		26,365千円	36,340千円
742 あすを見つめる政策研究事業										経営企画部経営企画課		経営企画担当参事 齋藤 伸宏	
目的	行政課題が複雑化・多様化するなか、職員の知識や能力を高め、諸課題への対応力を磨くことを目的とする。									開始	H24	R6	R7
										予算現額		2,300千円	1,500千円
内容	有識者からの助言や支援を受ける機会や、先進自治体視察や研修会への参加の機会を確保し、職員の能力向上につなげる。									決算額(R7見込)		657千円	842千円
										正規職員数		0.15人	0.14人
指標	行動目標の達成率 職員による行政経営の取組状況を示す指標。 数値は、「所沢市行政経営のための職員行動ガイドライン」に掲げた行動目標の達成率。令和10年度までに95.0%をめざすもの						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,224千円	1,183千円
							92%	80%	95%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,881千円	2,025千円
742 中核市移行準備事業										経営企画部経営企画課		経営企画担当参事 齋藤 伸宏	
目的	令和12年4月の中核市移行に向けて、庁内検討体制(政策会議・中核市移行推進委員会・各専門部会)において協議・検討を行うにあたり、移譲事務の精査、組織体制の整備などに必要な調査・調整や、埼玉県との移行に関する調整、市民への周知啓発を目的とする。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		69千円	166千円
内容	庁内検討体制(政策会議・中核市推進委員会・各専門部会)における移行に向けた組織体制などの協議・検討、移譲事務や職員派遣などの埼玉県との調整、中核市移行及び移行による効果などの市民への周知啓発を推進する。									決算額(R7見込)		11千円	53千円
										正規職員数		1.54人	2.57人
指標	令和12年4月に中核市移行を目指していることの市民の認知度						R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		12,569千円	21,709千円
							-	31.3%	45.0%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		12,580千円	21,762千円

742 所沢市保健所整備事業								健康推進部保健医療課			保健医療課長 中山 倫宏		
目的	令和12年4月の中核市移行を目指し、地域保健法に基づき、地域の保健衛生分野の中心拠点として新たに保健所を整備するものである。							開始	R6	R6	R7		
								予算現額		1,224千円	36,555千円		
内容	保健所による市民サービス提供が可能な拠点・組織・機能を令和11年度までに整備し、令和12年4月1日に開所する。							決算額(R7見込)		1,103千円	35,395千円		
								正規職員数		1.00人	3.99人		
指標	所沢市保健所整備に必要となる手続き等の進捗状況(当該年度における最終手続き予定事務の完了を目標とする)							R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	8,162千円	33,704千円
								-	基本設計業務委託契約締結	施工推進	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	9,265千円	69,099千円	
743 SAITAMA出会いサポートセンター利用支援事業								経営企画部企画総務課			企画総務課長 澤 敦史		
目的	埼玉県が運営する「SAITAMA出会いサポートセンター」に市町村会員として参加することにより、所沢市で暮らし、働き、結婚を希望する人が結ばれ、充実した生活が送れるよう支援するもの。							開始	R6	R6	R7		
								予算現額		139千円	139千円		
内容	独身男女に出会いの機会を提供する公的な結婚支援センターで、AIによるマッチングシステムを中心としたサービスを提供している。自治体が会員となることで、市内在住の入会希望者の利用登録料が5,000円割引となる。							決算額(R7見込)		139千円	139千円		
								正規職員数		0.15人	0.10人		
指標	「SAITAMA出会いサポートセンター」における所沢市民の会員数について前年からの増加様々な民間のサービスが提供されている中、市内在住で結婚を希望する人が出会いの手段として、安心・安全な「SAITAMA出会いサポートセンター」を選択し、会員が年間で100人増加することを目標としている。							R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	1,224千円	845千円
								-	120人	-	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	1,363千円	984千円	
743 COOL JAPAN FOREST構想推進事業								経営企画部経営企画課			経営企画担当参事 齋藤 伸宏		
目的	株式会社KADOKAWAと協力して文化事業や企業誘致等、産官共同で事業展開を行い、構想に示した「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現を目的とする。							開始	H27	R6	R7		
								予算現額		290千円	300千円		
内容	株式会社KADOKAWAを始めとする民間企業や地域住民と、様々なイベント等の機会をとらえて連携・協力を図っていく。							決算額(R7見込)		228千円	281千円		
								正規職員数		0.57人	0.45人		
指標	JR東所沢駅の乗車人員数(1日平均)構想の推進エリアとなる東所沢に人の流れを増やすという視点から、JR東所沢駅の1日平均乗車人員数を指標とした。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,652千円	3,801千円
								14,903人	未確定	16,700人	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	4,880千円	4,082千円	
743 ダイアプラン推進事業								経営企画部経営企画課			経営企画担当参事 齋藤 伸宏		
目的	埼玉県南西部に位置する5市(所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市)で組織する埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)を通じて、当該圏域が首都圏における豊かで魅力あふれる都市圏となることを目的とする。							開始	S63	R6	R7		
								予算現額		731千円	626千円		
内容	構成市の連携・交流を深め、広域的な行政課題への取組みを推進する。公共施設の相互利用や施設間のネットワーク化、交通網整備など、圏域住民の利便性や交流を図るほか、イベント等により構成5市の連携を促進する。							決算額(R7見込)		726千円	626千円		
								正規職員数		0.46人	0.40人		
指標	市民相互交流者数(圏域施設相互利用者数+交流事業参加)公共施設の相互利用や圏域住民の交流を図ることが当該事業の目的となっていることから、圏域内の交流者数を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,755千円	3,379千円
								545,578人	489,256人	545,578人	その他職員割合	0人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	4,481千円	4,005千円	
743 eスポーツ啓発推進事業								経営企画部経営企画課			経営企画担当参事 齋藤 伸宏		
目的	近年、全国的に急速な広がりを見せているeスポーツについて周知啓発を行うとともに、市施策への活用を図ることを目的とする。							開始	R5	R6	R7		
								予算現額		1,000千円	7,000千円		
内容	ところざわサクラタウンを拠点とする埼玉県eスポーツ連合やeスポーツプロチームを有する株式会社KADOKAWA等と協力しながら、イベントの開催に取り組む。							決算額(R7見込)		990千円	6,999千円		
								正規職員数		0.29人	0.43人		
指標	eスポーツ体験イベント参加者が、アンケートで再度参加希望と回答した割合自治体がeスポーツを活用するにあたり、継続性が重要であることから、継続して参加したいと考える参加者の割合を指標とする。							R5現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	2,367千円	3,632千円
								85.7%	94.9%	85.7%	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	3,357千円	10,631千円	

743 公民つながるプロジェクト推進事業										経営企画部経営企画課		経営企画担当参事 齋藤 伸宏	
目的	第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、将来的に目指すまちの姿として「魅力にあふれ、活力ある経済活動の中で安心して暮らせるまち」を掲げ、公民連携の重要性を謳っている。こうした中、近年、社会的に企業のCSR(社会貢献)活動が注目され、多くの民間事業者が地域貢献に積極的に取組んでいる。 本事業は、こうした風潮を好機ととらえ、公共で行う様々な事業に民間事業者からの支援をより効果的かつ効率的につなぐことを目的とするものである。									開始	R5	R6	R7
										予算現額		1,107千円	892千円
内容	企業版ふるさと納税の募集により、地方創生に係る市の事業の推進を図る。また、市の課題解決に向けた民間企業等の提案を「公民連携プラットフォーム」を活用し、所管部署とのマッチングを図る。									決算額(R7見込)	941千円	677千円	
										正規職員数	1.17人	0.90人	
指標	協定等により自治体・企業・教育機関等と連携している事務事業の件数自治体・企業・教育機関等との連携の充実度合いを示す指標。 数値は、官官、官民、官学それぞれ連携して取り組んだ事務事業の件数。令和10年度までに270件をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	9,550千円	7,602千円		
						246件	278件	270件	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	10,491千円	8,279千円	
743 所沢Mixカルチャーフェスタ開催事業										経営企画部経営企画課		経営企画担当参事 齋藤 伸宏	
目的	市民が新たな文化に触れる機会を創出するとともに、「みどり・文化・産業が調和した地域づくり」への機運の醸成を促すことで、COOL JAPAN FOREST構想を推進することを目的とする。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		1,500千円	1,500千円
内容	毎年ところざわサクラタウンで開催される「武蔵野回廊文化祭」にあわせて、ポップカルチャーを始めとする様々な文化と市の伝統文化を掛け合わせた「所沢Mixカルチャーフェスタ」を開催する。									決算額(R7見込)	1,500千円	1,500千円	
										正規職員数	0.26人	0.40人	
指標	当日の参加者数 市民が新たな文化に触れる機会を創出していくため、当日の参加者数を指標とする。					R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,122千円	3,379千円		
						690人	86人	—	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	3,622千円	4,879千円	
744 DX推進事業										経営企画部デジタル戦略課		デジタル戦略課長 堤 健太郎	
目的	デジタル技術を活用して行政サービスの向上、業務の効率化、地域課題の解決を図ることで、2040年ビジョンである「人にやさしいデジタルが暮らしに浸透したまち」を実現する。									開始	S63	R6	R7
										予算現額		11,634千円	5,454千円
内容	庁内のDX推進体制を整備するとともに、DX施策の立案や実施を推進する。									決算額(R7見込)	9,992千円	4,553千円	
										正規職員数	2.16人	3.00人	
指標	行政手続きのオンライン化に関する市民満足度。市民意識調査の当該設問で、「必要な手続きがオンライン化されている」と答えた人の割合(「希望がない」「わからない」「無回答」を除外して算出)。5年間で5ポイントの上昇を目指す。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	17,630千円	25,341千円		
						81.5%	85.3%	86.5%	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	27,622千円	29,894千円	
744 AI等技術推進事業										経営企画部デジタル戦略課		デジタル戦略課長 堤 健太郎	
目的	AI・RPA等の技術を活用し、事務効率を向上させ、職員が「職員でなければ遂行できない業務」に時間を振り向けることができるようにする。									開始	R3	R6	R7
										予算現額		9,821千円	9,478千円
内容	AI・RPA等が利用できる環境を整備するとともに、より多くの部署において効果的な活用が進むように支援を行う。									決算額(R7見込)	9,766千円	9,478千円	
										正規職員数	0.57人	0.72人	
指標	AI等技術の活用所属数(全所属で利用できるツールを除く)。 R10年度には、R5年度の11所属から倍増(22所属)を目指す。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,652千円	6,082千円		
						11	19	22	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	14,418千円	15,560千円	
744 支払案内サービス事業										出納室		出納室長 北村 史恵	
目的	指定金融機関に支払う公金振込手数料半額の優遇措置が令和7年度で終了するため、令和8年度から大幅な費用負担の増加が見込まれる。振込件数を削減することで費用負担の増加を抑えることを目的とする。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		0千円	1,165千円
内容	本事業は費用負担の軽減を目的に、財務会計システムの振込集約機能を用いて同日に同一債権者へ行う振込をまとめることで振込件数を削減するとともに、債権者がWEB上の専用サイト上で、その支払明細を確認できる「支払案内サービス」を令和8年度より導入するものである。									決算額(R7見込)	0千円	1,165千円	
										正規職員数	0.00人	0.45人	
指標	振込手数料の削減を目的としていることから、削減することができた振込件数を指標とする。目標値は、例年と同様の伝票数とした場合の振込をまとめることができる件数を算出したもの。					R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	0千円	3,801千円		
						0件	0件	23,621件	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	0千円	4,966千円	

744 医療情報システム更新事業										市民医療センター事務部総務課		総務課長 粕谷 憲之	
目的	医療情報システムは、市民医療センターにおける予約、受付、診察、検査、会計等の業務を支援するものである。 医療のデジタル化に対応し、電子カルテの導入などにより業務効率を高めることを目的とする。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		9,460千円	314,380千円
内容	令和6年度から令和7年度の2ヶ年をかけて事業を進める。 新規導入機能として、電子カルテ、クラウドシステム、院内一部無線化、Web予約、Web問診、誘導支援、二要素認証を予定している。									決算額(R7見込)		5,940千円	280,203千円
										正規職員数		0.50人	1.35人
指標	事業の進捗を指標とする。 ・令和6年4月:契約締結(事業支援業者) ・令和6年5月～令和6年12月:仕様書作成 ・令和7年1月～令和7年 2月:RFP ・令和7年3月:契約締結(ベンダー) ・令和7年4月～令和8年2月:開発、運用整備 ・令和8年3月:本番稼働						R6現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)		4,081千円	11,403千円
							50%	100%	100%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		10,021千円	291,606千円
745 情報セキュリティ対策推進事業										経営企画部デジタル戦略課		デジタル戦略課長 堤 健太郎	
目的	住民の個人情報や情報資産をサイバー攻撃等の脅威から保護し、行政サービスの安定稼働を確保するために、技術的・物理的セキュリティの水準を維持し、職員の人的セキュリティの向上を目的とする。行政に対する信頼を維持し、安全・安心な地域社会の実現を図る。									開始	H15	R6	R7
										予算現額		0千円	0千円
内容	職員を対象としたセキュリティ意識の向上とルール徹底を図る。具体的には、情報セキュリティ監査の実施、セキュリティ研修の実施、標的型攻撃メール訓練の実施、パスワード管理や私物デバイス持ち込み禁止のルール化、情報漏洩等インシデント時の報告フローの周知を行う。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		2.25人	1.44人
指標	情報セキュリティ監査にて、被監査部門において確認する全監査項目のうち、適合及び改善した項目数(本監査での適合項目数とフォローアップ監査を経た改善項目数の合計数)で、被監査部門においてセキュリティが適正に保たれていることを示すもので、100%をめざす。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		18,365千円	12,164千円
							98.4%	99.3%	100%	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	II:継続	決算額+人件費		18,365千円	12,164千円
745 個人情報保護制度推進事業										市民部市民相談課		市民相談課長 吉内 れい	
目的	市の保有する個人情報の適正な取扱を図り、個人の権利や利益の保護と公正で信頼される市政の推進を目的とする。									開始	H13	R6	R7
										予算現額		796千円	1,233千円
内容	保有個人情報開示請求等の相談と受付、個人情報の取扱状況の把握及び出前講座や研修を通じて、市民や職員への個人情報保護制度の周知を図っている。									決算額(R7見込)		283千円	836千円
										正規職員数		1.05人	1.05人
指標	開示請求に対する不服申立て率(%) (不服申立て数÷請求数×100) 開示決定時における丁寧な説明等に努めることにより、開示請求に対する不服申立てを発生しないことを目標とするため、0.0%を指標とした。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		8,570千円	8,869千円
							1.7%	0.0%	0.0%	その他職員割合		0.00人	0.13人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	II:継続	決算額+人件費		8,853千円	9,705千円
751 中長期財政計画事務										財務部財政課		財政課長 井上 大樹	
目的	市税収入をはじめとする歳入の予測及び各種計画と連携した歳出の中長期的な見通しを立てることにより、継続的な歳出の抑制に取り組むとともに、適切な財源配分を行い、計画的で持続可能な財政運営を維持するものである。									開始	H19	R6	R7
										予算現額		0千円	0千円
内容	所沢市総合計画基本計画の期間に合わせた中期財政計画と、所沢市総合計画の期間に合わせた長期財政計画について、歳入は予算科目別、歳出は性質別に分類しそれぞれの財源推計を行い、この計画を踏まえた予算編成を行う。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		0.45人	0.45人
指標	実質公債費比率 地方公共団体の公債費の負担度合いを示す指標である。数値は、地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したもので、毎年度、5.5%以下をめざすものである。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		3,673千円	3,801千円
							5.1%	4.9%	5.5%以下	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画通り	方向性	II:継続	決算額+人件費		3,672千円	3,801千円
752 市有地売却事業										財務部管財課		管財課長 吉田 孝之	
目的	財産の維持管理コストの削減を図るとともに、売払い収入による財政財源の確保を目指す。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	2,701千円
内容	公有財産のうち、市での利用見込みのない市有地を一般競争入札等により売り払う。									決算額(R7見込)		-	2,019千円
										正規職員数		-	1.08人
指標	未利用市有地の計画的・継続的な処分に向け、年度内に一般競争入札の手続きを執行した件数を評価する指標である。						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		-	9,123千円
							2件	2件	2件	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		-	11,142千円

752 市税収納管理等委託事業										財務部収税課		収税課長 近藤 敦志	
目的	定例業務の委託化に伴う滞納整理担当職員の確保と、収入額の増加及び収納率の向上。									開始	H30	R6	R7
										予算現額		60,522千円	
内容	①収納情報の消込業務及び還付充当処理 ②口座情報の登録及び廃止業務 ③滞納整理に付随する調査業務 ④上記業務に付随する事務処理									決算額(R7見込)		60,522千円 61,182千円	
										正規職員数		0.90人 0.90人	
指標	市税の収納率向上にむけた取組の成果を測る指標。 数値は、市税の収納率。令和10年度までに98.6%以上をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,346千円 7,602千円		
						98.3%	98.8%	98.6%	その他職員割合		0.00人 0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費 67,868千円 68,784千円		
753 財政情報公開事業										財務部財政課		財政課長 井上 大樹	
目的	多くの市民が市の財務情報に興味や関心を持てるよう、様々な情報を分かりやすく公開し、財務の透明性の確保を図るものである。									開始	-	R6	R7
										予算現額		0千円	
内容	財政事情の公表、財政のツボ、財政トークスなど、財政に関する情報を定期的に公表する。また、財政の健全化判断比率や統一的な基準による公会計に対応した財務書類を作成し、公表する。									決算額(R7見込)		0千円 0千円	
										正規職員数		0.00人 0.00人	
指標	財政情報に関する市ホームページのアクセス件数財政情報に対する市民等の関心度を測る指標。 数値は、市ホームページ上で財政課が所管するコンテンツ(予算、決算その他の財政情報)へのアクセス数。令和10年度までに現状からおよそ10%増をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		0千円 0千円		
						69,679件	86,165件	77,000件	その他職員割合		0.00人 0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費 0千円 0千円		
754 公共施設マネジメント推進事業										経営企画部経営企画課		経営企画担当参事 齋藤 伸宏	
目的	公共施設等の適切な管理。									開始	H23	R6	R7
										予算現額		1,251千円	
内容	公共施設等の総合的かつ計画的な管理を進める。									決算額(R7見込)		1,251千円 1,251千円	
										正規職員数		0.47人 1.25人	
指標	公共施設の総面積 所沢市公共施設等総合管理計画に掲げる「公共施設の総量適正化」の状況を測る指標。 数値は、本市公共施設の総面積。毎年度、現状値以下をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		3,836千円 10,559千円		
						718,208.0㎡	734,175.2㎡	現状値以下	その他職員割合		0.00人 0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費 5,087千円 11,810千円		
754 市庁舎管理事業										財務部管財課		管財課長 吉田 孝之	
目的	庁舎の効率的かつ安定的な運用を行うことで、安全で快適な業務を継続することを目的とする。									開始	S61	R6	R7
										予算現額		258,135千円	
内容	施設・設備の適切な保守点検や維持管理、清掃を行い、快適かつ安定的な庁舎運営を行うとともに、空調設備の適正な温度管理による庁舎電力使用量の削減を図る。									決算額(R7見込)		257,940千円 281,251千円	
										正規職員数		0.97人 1.50人	
指標	快適な執務環境を維持しつつ、環境負荷の低減と経費削減を図るため、目標年度比5%削減を目標とする指標である。 平成22年度と比較した年間電力使用量削減率(平成22年度年間電力使用量 3,029,809kWh)					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		7,917千円 12,671千円		
						18.2%	13.3%	5.0%	その他職員割合		1.00人 1.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続		決算額+人件費 265,857千円 293,922千円		
754 市庁舎施設整備事業(庁舎基幹設備改修工事)										財務部管財課		管財課長 吉田 孝之	
目的	市庁舎の安定的な継続使用及び長寿命化を図るため、基幹設備改修工事を実施する。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		527,129千円	
内容	空調・給排水衛生設備を更新するとともに、多目的トイレをバリアフリー法に適合した仕様へと改修する工事を行う。									決算額(R7見込)		178,860千円 1,371,600千円	
										正規職員数		0.63人 1.55人	
指標	令和6年度から令和8年度までの工期内において、各年度の工程計画に基づき大規模改修を遅滞なく、計画的かつ確実に完了させる指標である。					R6現状	R7実績	R8目標	正規職員数(費)		5,142千円 13,093千円		
						達成	達成	完了	その他職員割合		0.00人 0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅴ:事業終了		決算額+人件費 184,002千円 1,384,693千円		

754 旧庁舎等解体事業										財務部管財課		管財課長 吉田 孝之	
目的	先行して既存建物を解体・除去することにより、今後の跡地利活用への迅速な対応を可能とする。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	11,599千円
内容	旧庁舎及び旧文化会館の解体工事を行う。									決算額(R7見込)		-	10,120千円
										正規職員数		-	0.75人
指標	旧庁舎および旧文化会館の解体工事を確実に完了させるため、各年度の工程における実施状況を確認する指標である。						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		-	6,335千円
							実施	実施	実施	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		-	16,455千円
754 まちづくりセンター施設整備事業										市民部地域づくり推進課		地域づくり推進課長 秋山 薫	
目的	老朽化する公共施設について、所沢市公共施設長寿命化計画に基づいて、計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るもの。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	39,479千円
内容	柳瀬まちづくりセンターの受水槽改修工事									決算額(R7見込)		-	36,325千円
										正規職員数		-	0.09人
指標	令和7年度に柳瀬まちづくりセンターの受水槽改修工事を完成させる。						R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		-	760千円
							－	完成	－	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		-	37,085千円
754 児童館施設整備事業(つばめ児童館空調設備改修工事)										こども未来部青少年課		青少年課長 粕谷 紀夫	
目的	老朽化した設備について、適正な管理を図るもの。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	74,591千円
内容	児童館開設から24年が経過しているつばめ児童館の空調機について、メーカーの耐用年数を超えて故障が頻発していることから改修するものである。									決算額(R7見込)		-	63,030千円
										正規職員数		-	0.17人
指標	事業の進捗率						R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)		-	1,436千円
							-	100%	100%	その他職員割合		-	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		-	64,466千円
754 公共施設長寿命化計画に基づく予防保全計画推進事業										建設部営繕課		営繕課長 中嶋 睦夫	
目的	建築物については、建築後30年を経過すると急激に劣化が進行するとされており、所沢市の公共建築物においても築後30年を経過するものが増加していくことを踏まえ、建築物の劣化が進行する前の予防保全に取り組む。									開始	H18	R6	R7
										予算現額		0千円	0千円
内容	平成18年度に「所沢市公共建築物修繕計画」を策定し、その後令和3年度には「所沢市公共施設長寿命化計画」に内容を継承し「予防保全計画」として統合された。この予防保全計画により、建築物の修繕を計画的に進行管理し、単年度に修繕工事が集中する事態を避けて財政負担を平準化するとともに、既存建築物の延命化を図り有効活用していく。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		2.95人	3.15人
指標	対象施設の築年数や修繕後の経過年数及び老朽度、市の財政状況を勘案し、関係各課と協議を行い、目標を設定する。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		24,078千円	26,608千円
							12件	8件	12件	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	B:やや貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		24,078千円	26,608千円
754 学校施設長寿命化改修事業(公共施設マネジメント推進事業の一環)										教育総務部教育施設課		教育施設担当参事 市村 浩昭	
目的	建築後40年以上を経過し、経年により老朽化が進む小中学校について、児童生徒の安全確保及び学校環境の充実を図るとともに、所沢市公共施設長寿命化計画に基づき、建築後80年以上使用することを目的として、長寿命化改修を実施する。									開始	R5	R6	R7
										予算現額		12,500千円	40,150千円
内容	所沢市立安松小学校長寿命化改修工事を実施する。 令和7年度は工事発注に向けた実施設計業務を行った。									決算額(R7見込)		12,500千円	29,300千円
										正規職員数		2.10人	1.45人
指標	学校施設長寿命化改修事業学校環境整備の進捗状況 (所沢市立安松小学校については、令和9年度末に改修工事完成を目標とする)						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		17,140千円	12,248千円
							基本設計3校	実施設計1校	改修工事完成	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		29,640千円	41,548千円